

(13) 図書館（教育委員会）

主な実施内容（平成 25 年 3 月公表）	取り組み・進捗状況など（平成 25 年度）	平成 26 年度以降の取り組みなど
<p>○本市図書館事業の独自性として、</p> <p>①子ども達が生涯を通して学び続ける基礎づくりのための公共図書館と学校図書館の連携（公共図書館の資源を活用した学校図書館の機能強化）</p> <p>②地域の課題解決に向け、情報提供および市民との協働や関係部局などと連携した支援</p> <p>③知識・情報の地域における発信および共有ならびに地域への還元の場合づくりをとおして、全国のモデルとなる「学びのまちづくり」を実現する。</p>	<p>○「とよなかブックプラネット」事業の推進を図るとともに公共図書館司書と学校図書館司書の交流研修を実施しました。</p> <p>○起業セミナーや医療健康情報レクチャーの開催、健康カレンダーや千里コラボ大学校や市内の高校への出張資料紹介、子育てサロン等へ絵本出前講座の講師派遣など、くらしの課題や地域課題の解決のための支援を行いました。</p> <p>○「北摂アーカイブス（地域に散在する記録を収集・デジタル化し、ウェブ上で公開）」、「しょうないREK（リサイクル本販売の収益を地域に還元）」、カフェパウリスタ関連の講演会の実施、子ども読書活動、障害者サービス、ブックスタート事業「えほんはじめまして」など市民協働及び学びのまちづくりにかかる取り組みを進めました。</p> <p>○豊中市立図書館の取り組みの方向性を示した中長期計画を策定しました。</p>	<p>○読書活動を促進し、児童・生徒の学ぶ力を育成する「とよなかブックプラネット事業」の充実を図るとともに、公共図書館司書と学校図書館司書の人事交流を行うなど、公共図書館と学校図書館との連携を強化していきます。</p> <p>*公共図書館司書と学校図書館司書の人事交流を平成 26 年度より開始</p> <p>○引き続き市民協働による事業を推進するとともに、地域連携センターや地域担当職員と連携し、地域情報の収集や提供、発信を行うなど、資料と人、人と人、地域と人を結びつける取り組みを進めていきます。</p> <p>○郷土史料を含む地域情報のアーカイブなど豊中市独自のコンテンツづくりを進めていきます。</p>
<p>○自動貸出・開館日数および開館時間の延長・返却ポイントの拡充など利用サービスの向上を実現</p> <p>○本市図書館の独自性とサービスの向上により、図書館を積極的に利活用する登録市民 60%の達成（現行 40%）</p>	<p>○すてっぷ内に返却ポストを設置しました。</p> <p>○開館日数については一部の館において年間 340 日（現行比 50 日増）への拡大に向けた検討を行うとともに、4 分館について、土・日曜日と祝日が重なった時は開館する方向で取り組みを進めていくこととしました。</p> <p>○自動貸出機等の導入に向けた調査・検討を行いました。</p> <p>○多様な生活様式を踏まえ、登録率の低い世代をターゲットにした課題解決支援メニューの提供、開館時間の延長や WEB 上でのサービスについて検討を行いました。</p>	<p>○開館日数については 340 日に拡大を図るべく、課題整理及び詳細設計を進めます。（平成 29 年度実施予定）</p> <p>○4 分館については土・日曜日と祝日が重なった時は開館します。また、資料点検期間を短縮します。（平成 26 年度実施）</p> <p>○開館時間の延長については、施設の立地状況や利用状況、地域性を踏まえ、施設ごとに判断し対応していきます。</p> <p>○引き続き、登録率の低い世代に向けたサービス及び利便性の向上を図っていきます。</p>
<p>○あるべきサービス水準・コストを実現する手法として、ICT を活用したカウンター業務の効率化を平成 25 年度より導入するとともに、本市独自の考え方にもとづき外部活力の導入（指定管理者制度による館の管理運営・各種業務の外部委託化・市民との協働）を検討し、平成 25 年度に方向性決定</p>	<p>○ICタグの導入（平成 25 年度完了）、図書館総合管理システムの更新によりカウンター業務の省力化のしくみを整備しました。</p> <p>○図書館の管理運営形態について図書館協議会に諮問しましたが、指定管理者制度の導入に対しては慎重なご意見をいただきました。（平成 25 年 6 月）</p> <p>○地域に根付き、地域とともに成長してきた本市図書館の成り立ち、市民の参画と協働のもと様々な事業を行ってき</p>	<p>○自動貸出機や予約棚を順次導入し、カウンター業務の省力化を段階的に進めていきます。</p> <p>○管理運営については、市民力を活かした管理運営※、他の施設との一体的な管理運営、外部委託など地域や施設の特性を踏まえた新たな管理運営体制の構築に向けた検討を進めます。</p> <p>※市民力を活かした管理運営とは、これまで培ってきた市民や地域団体との連携・協働による事業実施をさら</p>

主な実施内容（平成 25 年 3 月公表）	取り組み・進捗状況など（平成 25 年度）	平成 26 年度以降の取り組みなど
	<p>たこれまでの実績などを踏まえつつ、コストの最適化と利用者サービスの向上を図るため、新たな図書館管理運営体制を構築していく方向で取り組みを進めていくこととしました。</p> <p>・地域館と分館の役割及び機能の分担を進め地域館への資源の集中化を進めていく方向で取り組むこととしました。</p>	<p>に発展させ、図書館 PR や事業企画、また寄贈本の装備・受入れ、修理作業などについても、地域団体・市民等との連携・協働により実施する取り組みです。</p> <p>○地域連携センターや複合施設など、多機能・複合化の条件が整っている図書館については、館の枠組みでサービスを行うのではなく、地域連携センターあるいは複合施設全体（外部活力の導入も含む）として一体的な管理運営のもと、図書館機能を提供する方式の検討を進めていきます。</p>
<p>○特色ある図書館づくりや地域の知の拠点としての施設のありようなどをふまえた今後の戦略的な施設配置について、館数の見直しをはじめ複合化・多機能化なども視野に入れ、平成 25 年度に具体的な配置計画を策定</p>	<p>○図書館協議会に施設配置についても諮問を行い、市民の学びを保障する使命の実現にかなう配置を行うべきとの趣旨の答申がありました。（平成 26 年 3 月）</p> <p>○施設配置については、地域館への資源の集中化を進めるため、施設の規模や状態、地域性を踏まえたうえ、地域館以外の分館等の配置を見直すとともに、館ごとの独自性づくりを進める方向で取り組むこととしました。</p>	<p>○施設配置の見直しにあたっては、移動図書館及び団体貸出の一層の活用、返却ポストの増設、公共施設等における蔵書検索・予約・受取・返却サービスのしくみの構築により利用者の距離的な利便性の確保を図ります。</p> <p>○各館共通の基本的なサービスを基礎として、その上にそれぞれの地域や住民の特性に応じ、特色ある図書館サービスを行っていきます。</p>
<p>○平成 32 年度までに市民 1 人あたり 2,000 円を下回るコストとする（現行 2,631 円・中核市平均 1,667 円）</p>	<p>○図書館の施設管理事務の一元化の実施（平成 26 年度実施）及び多様な雇用形態の活用を進めました（平成 26 年度常勤職員▲5 人）</p> <p>○新しい図書館管理運営体制の実現には職員体制の多様性も求められるため、事務職の配置拡大を進めていくこととしました。</p> <p>【市民1人あたりコスト】 平成 26 年度予算＝2,639 円</p>	<p>○司書の役割や常勤職員と非常勤職員との役割分担の明確化を図るとともに、施設配置の見直し、ICTの活用、市民力をはじめとした外部資源の活用により、職員体制の見直しを進めていくこととします。</p> <p>* 公共図書館司書と他部局の事務職の人事交流を平成 26 年度より開始</p>

地域館 … 岡町、庄内、千里、野畑
分館 … 東豊中、蛭池、服部、高川
分室 … 庄内幸町
図書室 … 豊島西小、いぶき